

指標 16.1.4

指標名、ターゲット及びゴール

指標 16.1.4 自身の居住区地域を一人で歩いても安全と感じる人口の割合
ターゲット 16.1 あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

ゴール 16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

定義及び根拠

- 定義
自身の居住地域を夜間一人で歩いて安全と感じる者の割合
- 概念
「安全と感じる者」：「とても安全」又は「まあまあ安全」と回答した者
- 根拠及び解釈
第4回犯罪被害実態（暗数）調査は全国から無作為抽出により選んだ16歳以上の男女4,000人を調査対象としていること、また、安全と感じる者の割合が高いことは、ひいては暴力被害に遭う可能性が低いことを意味するものと考えられることから、本指標はターゲットの測定に適していると言える。

データソース及び収集方法

第4回犯罪被害実態（暗数）調査：平成24年に調査実施

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
「暗くなった後、あなたの住んでいる地域を一人で歩いているとき、どの程度安全であると感じますか。」という質問に対して、「とても安全である」、「まあまあ安全である」、「やや危ない」及び「とても危ない」の選択肢を選んだ者のうち、「とても安全である」又は「まあまあ安全である」を選んだ者の割合
- コメントと限界
第4回犯罪被害実態（暗数）調査は、全国から無作為抽出により選んだ16歳以上の男女4,000人を調査対象として郵送調査を実施した結果、2,156

人から回答が得られたものである。

データの詳細集計

都市規模別，世帯人数別，住居形態別，男女別，年齢層別，就業状況別，婚姻状況別，全犯罪被害（世帯犯罪被害と個人犯罪被害を合わせたものを言う。）の有無別，世帯犯罪被害（自転車盗，バイク盗，自動車盗，車上盗，自動車損壊，不法侵入及び不法侵入未遂を言う。）の有無別，個人犯罪被害（強盗等，個人に対する窃盗，暴行・脅迫及び性的な被害を言う。）の有無別の統計が利用可能

参考

- ・法務省ウェブサイト（「研究部報告 4 9 犯罪被害に関する総合的研究 – 安全・安心な社会づくりのための基礎調査結果（第 4 回犯罪被害実態（暗数）調査結果） – 2013」

http://www.moj.go.jp/housouken/housouken03_00066

- ・政府統計の総合窓口（e-stat）（第 4 回犯罪被害実態（暗数）調査 – 安全・安心な社会づくりのための基礎調査結果 – ）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00250013&tstat=000001118198&cycle=0&year=20120&month=0>

データ提供府省

法務省法務総合研究所

関連政策府省

警察庁

担当国際機関

国連薬物・犯罪事務所（UNODC）